爽風－3

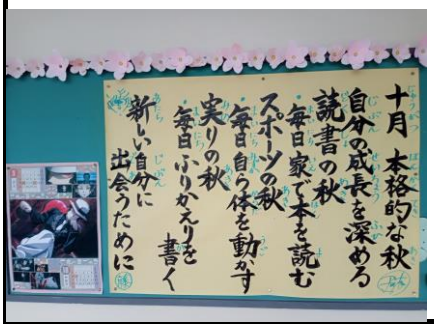
【学校教育目標】
力強く未来を拓き、
社会の創り手を目指す
児童の育成
【キーワード】「ありがとう」
挨拶・整理・笑顔・読書・掃除・感謝

【かづさの教え】
かしこく つよく さわやかに
南島原市立加津佐小学校
学校だよりNo25
令和3年10月1日
文責　校長　藤田哲夫

１０月（学年の後半へ）

〇全校集会を校内放送で行いました。

かしこくつよくさわやかなかづさっ子の皆さん
こんにちは
　明日からいよいよ10月です。一年の半分が過ぎました。今の学年の半分が終わったことになります。みなさんは、この半年でしっかり成長しました。自分のどんなところが成長したか、自分で分かっていますか。自分の成長を自分で分かることはとても大切なことです。もし、「自分では分からない」という人がいたら、友達や先生や家の人にきいてください。そして、教えてもらった自分のいいところをしっかりと覚えておきましょう。それが、次の成長につながります。
　さて、10月といえば、本格的な秋です。秋といえば、いろいろな秋があります。みなさんは、どんな秋を知っていますか？秋といえば、読書の秋やスポーツの秋、食欲の秋など、いろいろありますね。
（中略）
　5年生の稲刈りも、来週予定されていますね。収穫が楽しみです。スーパーの店先にも豊富な食材が出回るこの時期は、“実りの秋”とも“収穫の秋”とも呼ばれますが、実りの秋は、何も食べ物のことだけではありません。今の学年になって半年間で学んだことをもとに、さらに学びを深め、自分の学ぶ力を実らせる秋でもあるのです。先生や友達の話をよく聞き、文をきちんと読み、さらに自分の考えを深めていきましょう。
　今の学年で過ごすのも、あと半年です。前半の自分をふりかえり、後半に向かいましょう。校長先生も、加津佐小学校で過ごすのは、残り半年となりました。やり残したことがないように、これからもいろんなことにチャレンジし、楽しみながら、自分を成長させ、よりよい加津佐小学校にしていきたいと思っています。かづさっ子のみなさん、あと半年、よろしくお願いします。新型コロナ感染症等に気をつけながら、健康第一で、笑顔で、元気に学んだり活動したりしながら、一緒に、ありがとう溢れる加津佐小学校を創っていきましょう。

朝のルーティン

〇９月が終わりました。児童も先生たちも元気です。児童の欠席は数えるほどしかなく、保護者の皆様の健康管理の賜と感謝しています。
〇校長の一日は、挨拶活動から始まります。児童が、元気に登校してくれるのを迎えることが何よりの楽しみであり、私自身の心の健康のよりどころです。
〇毎日立っているとその児童の違いに気付きます。しかし、よっぽどでない限り、余計なことは言いません。「おはようございます。ありがとう。」だけです。笑顔でそう伝えるだけで、児童の雰囲気が変わります。児童も、いろいろなものを背負っています。せめて私と会うときぐらい、少しでも楽しい気持ちにさせたいのです。
〇若木保育園の園バスに挨拶し、朝の挨拶活動を終えたら、児童玄関に向かいます。児童の靴箱を見るためです。靴箱を見れば、その時刻にまだ登校していない児童が分かります。時々、遅く登校してきた児童とも出会います。ここでも余計なことは言いません。「おはようございます。ありがとう。」と伝えるだけです。最初は気まずそうに歩いていた児童が、ちょっと笑顔になります。
〇職員室に戻り、教頭先生に靴箱の状況を伝え、欠席連絡の確認をします。靴箱の状況との整合を図るためです。多くて数人の欠席ですので、すぐに確認できます。その頃がだいたい8時15分で、そこから勤務開始となります。
〇校長にとって、この朝のルーティンはとても大切なもので、児童からいつも元気をもらっています。ありがたいです。